

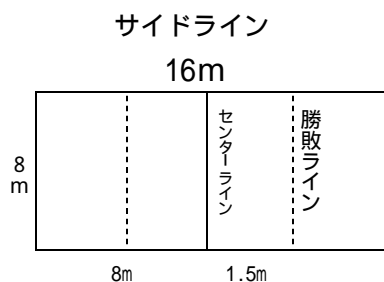
第 11 回 全日本樽みこし綱引き選手権大会メンバー表

チ ャ ム 名					
監 督 氏 名				住 所	
	選 手 名	性 別	生年月日	住 所	体 重
1		男・女	・ ・		kg
2		男・女	・ ・		kg
3		男・女	・ ・		kg
4		男・女	・ ・		kg
5		男・女	・ ・		kg
6		男・女	・ ・		kg
7		男・女	・ ・		kg
8		男・女	・ ・		kg
9		男・女	・ ・		kg
10		男・女	・ ・		kg
11		男・女	・ ・		kg
12		男・女	・ ・		kg

全日本樽みこし綱引き選手権大会競技規則

試合方法

組合せはフリー抽選とし、試合はトーナメント方式とする。
試合に使用する綱の長さは約6mとし、試合コートは以下のとおりとする。



1 試合は3本勝負とする。

コートの決定は、1本目開始前に両チーム代表者によるジャンケン(1回)を行い、勝ったチームが決定する。

2本目は、1本目とコートを交代する。

3本目で勝負がつかない場合は、勝負がつくまで再試合を行う。

3本目及び再試合は、再度代表者によるジャンケン(1回)を行い、勝ったチームがコートを決定する。

試合時間は、各1本30秒間とする。

試合方法は以下とする。

主審の『位置について』でみこしの各位置に直立する。

主審の「よーい」で構える。この時、みこしに触れても良いが、地面より浮かしてはならない。

ピストルの合図で引き始める。

選手は地下足袋か足袋を着用する。(スパイク等・靴・素足は禁止とする)

試合中、コート内に入ることができる者は試合出場選手と監督1名とする。但し、この場合、監督は選手並びにみこしに触れてはならない。

応援者は観客席側で応援を行う。

選手の交代は、監督が本部に申し出て承認を得て行う。

異議申し立ては、監督のみが主審に対して行うことができる。

異議申し立てに対し必要と認めた場合、審判団で協議し説明する。

勝敗の判定

綱の中心がセンターラインから1m50cm離れた勝敗ラインを越えた場合または、試合時間終了時に綱の中心をセンターラインより自陣に引き込んでいるとき。

相手チームの選手の足が、サイドラインを踏み越えたとき。

相手チームのみこしや選手の身体が故意に地面に着いたと審判が判定したとき。

審判が相手チームの体勢が危険と判断したとき。

フライングを1本の間で2回行ったとき。